

岡山赤十字玉野病院

健診システム

入札仕様書

岡山赤十字玉野病院に納品する健診システムは㈱ワイズマンの電子カルテシステムと連携ができることが前提であり、以下の機能を有すること

システム構成

基本システム全般

- ① 既に完成されたパッケージアプリケーションをベースとしたシステムであること。
- ② システム上、以下のような安全性管理を有するシステム(ハードウェア・ソフトウェア)であること。
 - ・ 個別の ID とパスワードによって、サーバ及びクライアントへの操作者を限定できること。
 - ・ 個別の ID とパスワードによって、アプリケーション利用時の認証が可能であること。
 - ・ ID ごとに利用可能な機能を限定できるアプリケーションであること。
 - ・ ログアウト後、別の ID で再度ログインが可能なこと。
- ③ 現行システムからのデータ移行について、CSV形式等でのデータ出力及びテーブルレイアウトの提供を前提として、対応可能且つ経験豊富なシステムであること。
- ④ システムに必要なハードウェア（サーバーなど）があれば、適切な性能を有したものを設置すること

ソフトウェア全般

- ① 既に完成されたパッケージアプリケーションであることを前提とする。
- ② 機能の追加・変更が容易なプログラム構成であること。
- ③ 各種設定変更が利用者(医療機関)でも容易に行えるように、マスタ等による追加・変更機能があること。
- ④ 全ての印刷機能にはプレビュー機能が標準装備されていること。
- ⑤ マスタ登録された検査項目の基準値、検査分類、判定項目、問診項目を利用した自動判定機能が存在すること。
- ⑥ 機能として以下のアプリケーションを有し、導入時または稼働後にも追加対応が可能なこと。
 - ・ 特定保健指導対応
 - ・ 協会けんぽ対応
 - ・ 健保向けデータ出力対応
 - ・ OCR 対応
 - ・ 発送管理対応
- ⑦ 各種連携機能として、以下のような連携が導入時または稼働後にも追加対応が可能なシステムであること。
 - ・ 医事システムからの属性情報の受取連携
 - ・ 検体検査データ取込
 - ・ 電子カルテと検体及び生理機能検査等(時間枠を含む)のオーダー連携ができること。

予約カレンダー

- a) カレンダー形式での予約状況の確認ができること。
- b) 曜日単位で登録した受診時間、検査機器毎の予約可能人数の設定ができること。
- c) 休日設定や日毎にメモ登録ができ、それがカレンダーに反映すること。
- d) カレンダーの表示状態を年・月・週・日毎に切り替えることができ、更に時間・コース・団体・機器で切り替えて表示することができること。
- e) 時間・コース・男女・団体・機器の予約状況を同時に確認できること。
- f) また、時間・コース・男女・団体・機器で更に絞り込みを行い、絞り込みを行ったカレンダーを表示することができること。
- g) 月・週毎表示時に受診者一覧を表示することができること。
- h) 予約カレンダー画面より、受診者の予約画面や結果登録画面、一括予約画面の起動ができること。
- i) 現在の予約件数、予約可能数（空き状況）の確認がカレンダー画面でできること。
- j) 受診期間と曜日に加え、受診者の性別、コース、オプションから空き枠が検索できること。
また、複数人分の空き枠の検索も可能なこと。
- k) 院内と巡回で分けてカレンダー表示できること。
- l) 受診者情報を検索し、そこから予約に展開できること。
- m) 受診歴を検索し、同じコース、オプションで新規予約できること。
- n) 受診者検索画面から業務進捗に応じて、予約受付、結果入力、帳票印刷の各画面に展開できること。

窓口業務

受診者予約

- a) 受診日、コース、団体、団体支店、団体所属、保険証区分、性別、生年月日の入力により、契約情報より予め設定されている項目、オプション、請求情報、特定健診、対象帳票の連携が可能なこと。
- b) 受診者個人の情報については、医事システムからの属性情報取込機能を有し、院内システム共通の患者 ID を健診個人 ID として利用すること。また、協会けんぽ対応のために保険情報も取得可能なこと。
- c) 予約画面において個人の過去の受診履歴が最大 5 年分参照可能なこと。
- d) 予約日の変更が容易にできる機能を持っていること。
- e) 協会けんぽ対応の受付番号を持っていること。
- f) 個人でのオプション設定や請求情報変更が同一機能内で可能なこと。
- g) 対象帳票として事前業務、当日業務、報告書の出力帳票の変更が同一機能内で可能なこと。
- h) 日付を指定せずに予約ができる機能を有すること。
- i) 受診時間までの管理が可能であること。

- j) 生年月日を入力する際、和暦、西暦の両方の入力に対応が可能なこと。
- k) 受診内容変更の際も、受診者の性別、コース、オプションからすぐに空き枠検索でき、スムーズな予約変更が可能なこと。

一括予約受付

- a) 登録時に予約、受付、修正、削除の処理区分の選択が可能であること。
- b) 登録時に受診日、コース、団体、団体支店、団体所属などの詳細設定が可能であること。
- c) 受診者を指定せずに仮予約の状態で予約することが可能であること。

受診者情報取込

- a) 団体からの受診者情報を Excel または CSV の一覧データから自動で取込可能な機能を有すること。
- b) データの取込形式は予めマスタ設定ができること。
- c) 取込時に受診日、コース、団体、団体支店、団体所属などの詳細設定が可能であること。
- d) 取込時に予約データとしての登録と受付完了データとしての登録の選択が可能であること。

予定表印刷

- a) 出力時にコース予定表と特定健診受診者名簿の選択が可能であること。
- b) 受診日、コース、団体、団体支店、団体所属などの範囲指定により、対象受診者の予定表の印刷が可能なこと。また、特定健診受診者名簿の場合は、更に契約形態、保険者、代表者、提出先の指定により印刷が可能なこと。
- c) 受診日、団体、コース、受診者名(カナ)、生年月日、年齢、性別、オプション内訳を出力対象項目とする。
- d) 出力時に改ページをしないか、月又は日毎に改ページをするかを指定できること。

受診者属性登録/受診者属性管理

- a) 予約受付をせずに属性の登録及び変更ができること。
- b) 指定した受診者を一覧に出力する機能を有すること。

受診者分類マスタ登録/受診者分類マスタ管理

- a) 予約受付で登録できる受診者分類の登録ができること。
- b) 指定したマスタを一覧に出力する機能を有すること。

健診業務

進捗一覧

- a) 受診日、受診者コードの範囲指定と、コース、団体の指定により受診者を抽出し、事前帳票、受付、当日帳票、問診結果、身体情報、検体検査、画像診断、特定健診、判定項目、所見文章、報告書、請求先請求、請求先入金、個人請求、個人入金の進捗の確認が可能なこと。
- b) 進捗項目を指定して、その進捗に該当する受診者のみ表示する機能を有すること。
- c) 進捗一覧から該当受診者の対象の入力画面及び出力画面を起動する機能を有すること。
- d) 進捗状況の変更が可能なこと。

e) 進捗状況が完了の際、完了日付が確認可能なこと。

受診結果入力

- a) 問診結果、身体情報、検体検査、画像診断、判定項目、特定健診、判定項目、所見文章の各入力は、入力タブの切り替えで同一画面内で可能なこと。
- b) 個人の過去の問診結果、身体情報、検体検査、画像診断、判定項目、判定項目、所見文章の受診履歴が入力画面内で最大5年分参照可能なこと。
- c) 個人の事前帳票、問診結果、身体情報、検体検査、画像診断、特定健診、判定項目、所見文章、報告書の進捗状況が参照可能で、尚且つ対象の入力画面及び出力画面の起動が可能なこと。
- d) 問診結果、身体情報、検体検査など結果を参照しながら、所見入力が可能なこと。
- e) 身体情報、検体検査、画像診断、判定項目の判定を一括でクリアする機能を有すること。
- f) 問診結果入力として、以下の機能を有すること。
 - ・ 問診項目はコース毎に設定が可能なこと。
 - ・ 問診項目の回答はマスタで初期設定が可能なこと。
 - ・ 問診項目の表示は、問診項目マスタ登録で問診項目毎に指定した問診分類別に切り替えが可能なこと。
- g) 身体情報入力として、以下の機能を有すること。
 - ・ 結果登録後に検査項目マスタの基準値に基づき、単項目の自動判定を行う機能を有すること。
 - ・ 自動判定結果の変更が可能なこと。
 - ・ 検査項目マスタの有効範囲に基づき、有効範囲外の値が入力された場合、警告を表示する機能を有すること。
- h) 検体検査入力として、以下の機能を有すること。
 - ・ 結果登録後に検査項目マスタの基準値に基づき、単項目の自動判定を行う機能を有すること。
 - ・ 自動判定結果の変更が可能なこと。
 - ・ 検査項目マスタの有効範囲に基づき、有効範囲外の値が入力された場合、警告を表示する機能を有すること。
- i) 画像診断入力として、以下の機能を有すること。
 - ・ 画像診断で入力する項目にはシェーマが設定でき、それぞれの異常個所に○、×、－印をポイントできること。ポイントの色は5色から選択が可能であること。
 - ・ 部位病名を検査所見マスタより選択することができること。
 - ・ 結果については、人間ドック報告書の部位所見欄にシェーマごと表現できること。
- j) 特定健診入力として、以下の機能を有すること。
 - ・ 特定健診用の判定値に基づき、メタボリック判定、保健指導の階層化の自動判定対応ができること。

- k) 判定項目入力として、以下の機能を有すること。
 - ・ 総合判定として、単項目を集計した判定項目ごとの自動判定が可能なこと。
- l) 所見文章入力として、以下の機能を有すること。
 - ・ 所見文章をマスタから、検査項目、検査分類、判定項目、問診項目ごとの自動所見文章を作成する機能を有すること。
 - ・ 所見文章について、自動所見文章の作成結果の編集も可能とする。また、直接入力やコメントマスタからの呼出についても可能とする。
 - ・ 所見文章を一般健診と特定健診で別々に入力可能なこと。
- m) 入力が完了したらロック処理がかかること。
- n) 入力が完了した受診者は画面上で容易に判別できること。
- o) 結果入力画面から予約受付画面を呼び出し、備考などが参照できること。
- p) 結果入力画面にてグラフ、チャートの表示が可能なこと。また、表示する検査項目は画面上で選択可能なこと。
- q) 治療中の項目を考慮した自動判定処理が行えること。
- r) 自動判定の際、各判定に対して上書きするか選択できること。

結果一覧入力

- a) 受診日、受診者コードの範囲指定と、コース、団体の指定により受診者を抽出し、受診結果の一覧形式入力が可能であること。
- b) 一覧で入力できる項目は予めグループをマスタ設定ができること。
- c) 対象受診者・受診項目についての単項目の自動判定機能も同一画面で行うことができること。
- d) 指定の検査項目に規定値を一括入力できる機能を有すること。
- e) 入力順序について、受診者単位に表示している全項目の入力を行う形式と、一項目ずつ全受診者の入力を行う形式の2種類が入力時に選択可能なこと。

検査結果取込

- a) 既存の検査システムとの連携をカスタマイズにて対応可能なこと。
- b) 検査システムにて作成された検査結果データを本システム検査結果に自動登録が可能であること。
- c) データの取込形式は予めマスタ設定ができること。
- d) 取込時に結果の上書きの有無の指定ができること。
- e) 自動登録時に該当項目の単項目判定が同時登録されること。
- f) 後日返却分の検査も考慮し、受診日から前後〇日分の結果を取り込む、という設定がマスタにて可能なこと。

一括自動判定

- a) 受診日、コース、団体、個人 ID、受診者コードの範囲指定、担当医の指定にて、条件対象者全員の判定を一括で行う機能を持つこと。

- b) 一括自動判定を行う処理項目を検査項目、判定項目、所見文章、特定健診から指定が可能であること。
- c) 一括自動判定した結果については、受診結果入力にて変更が可能であること。

画像所見入力

- a) 検査項目のうち画像診断項目として登録した項目に対して、単独で所見を作成する機能を持つこと。
- b) 所見はテキスト入力及び、マスタ内容を割り当てた操作ボタンをクリックして入力できること。
- c) 所見作成者は3名まで登録でき、それぞれの所見作成内容が個別に保存されること。
- d) ダブルチェック方式に対応した入力画面であること。
- e) ダブルチェックの入力、未入力が容易に判断できること。
- f) 未読影の受診者のみの表示が可能なこと。

帳票出力

帳票印刷

- a) 事前帳票、当日帳票、報告書を、受診日、コース、団体、団体支店、団体所属、保険者、個人 ID、受診者コードの範囲指定によって、該当受診者の帳票出力が可能であること。
- b) 範囲指定して抽出された受診者の中から、更に受診者を指定して出力が可能であること。
- c) 出力する帳票は事前帳票、当日帳票、報告書から選択が可能であること。
- d) 出力帳票は受診者毎に予約受付の対象帳票で設定した帳票を出力することができるが、受診者別の帳票出力設定を無視する機能も有すること。
- e) 複数帳票を出力する場合、帳票単位でまとめて出力する機能を有すること。
- f) 出力順は受診日、受診者コード、個人 ID、受診者名（カナ）、コース、団体、団体支店、団体所属、保険証番号から3項目まで指定して出力が可能である。
- g) 各帳票のレイアウトは、帳票設計ツールにより、文章や出力項目、色設定、用紙サイズ等を自由に変更が可能である。
- h) 印刷の際、出力形式が選択でき、PDF 形式、JPG 形式でも保存可能なこと。
- i) 受診者単位で設定された帳票に対して出力、未出力が確認できること。
- j) 各受診者に対して、出力した帳票の種類、出力日時、出力した担当者が画面から確認可能なこと。

ラベル印刷

- a) 受診日、コース、団体、団体支店、団体所属、保険者、個人 ID の範囲指定によって、該当受診者のラベル出力が可能であること。
- b) 範囲指定して抽出された受診者の中から、更に受診者を指定して出力が可能であること。
- c) ラベルの大きさ（1枚12シート、1枚44シート、1枚4シートなど）や出力項目、またラベ

ルのレイアウトは帳票設計ツールで自由に作成できること。

- d) 出力時に作成したラベルの種類を選択し、1 受診者あたりの出力枚数を指定できること。
- e) 未受診者への案内用として、前回の受診日を指定して、指定する期間内に予約受付が登録されていない受診者を抽出する機能を有すること。

健診結果一覧表印刷

- a) パッケージアプリケーションとして、標準の健診結果一覧表のフォーマットを有すること。
- b) 受診日、コース、団体、団体支店、団体所属などの範囲指定により、対象受診者の健診結果一覧表の印刷が可能なこと。
- c) カナ、受診者コードの出力順の指定が可能であること。
- d) コース、団体、団体支店、団体所属別に健診結果一覧表の印刷が可能なこと。
- e) 判定項目、検査項目の出力順、行数設定、基準値表示、項目名称などが帳票設計ツールにて自由に設定変更可能なこと。

定期健康診断報告書印刷

- a) パッケージアプリケーションとしての標準フォーマットを有すること。
- b) 受診日、コース、団体、団体支店、団体所属などの範囲指定により、対象受診者の報告書の印刷が可能なこと。
- c) 有所見者数の割り出しを判定項目とするか検査項目とするか自由に設定変更できる機能を有すること。

リスト印刷

- a) 指定した条件に合致した対象者のリストが印刷できること。
- b) 受診日、コース、団体、団体支店、団体所属などの範囲指定及び、出力区分（予約 or 受付）の指定により、対象受診者の報告書の印刷が可能なこと。
- c) 表示順は受診日、受診者コード、個人 ID、受診者名（カナ）、コース、団体、団体支店、団体所属、分類から 3 項目まで指定して出力が可能である。

検査項目指定印刷

- a) 指定した検査項目、または検査分類に該当する受診者の一覧を出力可能なこと。
- b) 出力帳票は単票形式かリスト形式か印刷の際に選択可能なこと。
- c) 出力順は受診日、受診者コード、個人 ID、受診者名（カナ）、コース、団体、団体支店、団体所属、保険証番号から 3 項目まで指定して出力が可能である。
- d) 印刷の際、出力形式が選択でき、PDF 形式、JPG 形式でも保存可能なこと。
- e) 受診者単位で設定された帳票に対して出力、未出力が確認できること。
- f) 各受診者に対して、出力した帳票の種類、出力日時、出力した担当者が画面から確認可能なこと。

契約・団体管理

契約情報登録

- a) 団体・団体支店・団体所属・コース・保険証区分・性別・契約期間・年齢区分を最小単位とした個々の請求情報やオプション(コース・単項目)の設定を可能とする。
- b) 団体・団体支店・団体所属・コース・保険証区分・性別・契約期間・年齢区分を最小単位とした個々の特定健診受診時の健診区分、保険者・代表者・提出先の設定を可能とする。
- c) 団体・団体支店・団体所属・コース・保険証区分・性別・契約期間・年齢区分を最小単位とした個々の事前業務、当日業務、報告書の出力帳票の設定を可能とする。
- d) また、出力帳票のレイアウトは帳票設計ツールで自由に作成することができ、複数登録することができること。
- e) 受診者個々の予約・受付登録時に本設定内容が反映し、個別の検査項目や請求情報、特定健診、対象帳票の設定が連携すること。
- f) 請求先(金額負担分配)は、団体や企業で最大3箇所＋個人負担分に分けることが可能なこと。
- g) 請求先の団体や企業については予めマスタでの設定が可能で、請求業務へ連携すること。
- h) 個人負担分については、個人請求書に反映すること。
- i) 契約情報の内容を印刷することができること。
- j) 契約ごとで基準値設定が可能なこと。
- k) 作成した各契約情報の名称は自由に変更できること。
- l) 契約先の団体、請求先を変更し、他の契約に一括複写できること。

保険者、代表者情報管理

- a) 保険者の情報を管理できること。
- b) 特定健診、特定保健指導の単価設定ができること。
- c) 国保、健保などを保険者、特定健診のとりまとめ機関、支払代行機関を代表者として情報を管理できること。
- d) マスタリストの出力が可能であること。

団体情報管理

- a) 団体名、団体支店、団体所属の情報を管理できること。
- b) マスタリストの出力が可能であること。

請求先情報管理

- a) 請求業務において、団体請求先を管理できること。
- b) 団体マスタ、保険者マスタ、代表者マスタの情報を引用して作成が可能であること。
- c) 団体（企業）か健保かを選択できること。
- d) マスタリストの出力が可能であること。

請求業務

個人請求書発行

- a) 個人負担分が発生する受診者に対する請求書が出力できること。
- b) 受診日の指定、個人 ID、団体、コースの範囲指定によって、請求書の出力が可能であること。
範囲指定から更に受診者を選択して請求書の出力が可能であること。
- c) 請求書の再発行、削除伝票発行の機能を有すること。
- d) 請求書編集機能があり、出力する請求書に対して宛先、内訳を編集可能なこと。

団体請求書発行

- a) 請求期間、請求先の範囲指定によって、団体向けの請求書及び明細書が出力できること。範囲指定から更に請求先を選択して請求書の出力が可能であること。
- b) 請求書の再発行、削除伝票発行の機能を有すること。
- c) 医療機関名、振込先情報などがマスタ等で容易に変更可能なこと。
- d) 請求書編集機能があり、出力する請求書に対して宛先、内訳を編集可能なこと。

会計名簿印刷

- a) 一日の受診者(受付完了分)の一覧表が出力可能なこと。
- b) 団体、コース、受診者名、受診者番号、オプション内訳を出力対象項目とする。
- c) 受診者の当日請求分の金額情報が付加されていること。
- d) 団体、団体支店、団体所属などの範囲指定により、一覧表の出力が可能なこと。
- e) 出力順は受診者コード、受診者名（カナ）から指定して出力が可能である。

売上集計表印刷

- a) 期間指定により売上集計表の出力ができること。
- b) 団体指定による集計表の作成も可能であること。
- c) 金額は団体（企業）分、健保分と分けて表示されること。

入金入力

- a) 個人負担分請求書、団体請求書のそれぞれについて、請求書単位での入金消し込み機能を有すること。

未入金・入金一覧表

- a) 上記入金入力画面より、未入金分の一覧表や入金済分の一覧表が出力できること。

請求先別元帳印刷

- a) 個人負担分請求書、団体請求書のそれぞれについて、請求書単位での元帳の出力が可能でこと。
- b) ある入金入力と連携しており、入金額がある場合は入金情報の出力が可能であること。

データ出力

受診結果 Excel 出力

- a) 指定した項目の受診結果を Excel または csv に出力が可能であること。
- b) 出力項目は予めマスタ設定ができること。
- c) 出力時に受診日、受診者コードの範囲指定、コース、団体、団体支店、団体所属、性別の指定により、出力が可能であること。
- d) マスタ設定は導入後もユーザー側で追加、変更可能なこと。

要精密検査一覧表

- a) 受診日、受診者コード、年齢の範囲指定、コース、団体、団体支店、団体所属、性別の指定により、異常判定者の一覧表が出力できること。
- b) 出力項目は、受診者コード、受診者名、生年月日、性別、年齢、受診日と、判定項目別の判定マトリクス表とする。
- c) 判定区分は指定せずに、範囲内の受診者の一覧表の出力も可能であること。

検査項目別異常者一覧表

- a) 受診日、コース、団体、団体支店、団体所属、受診者コード、年齢、性別の指定により、指定した 3 種の検査項目で異常判定に該当した受診者の一覧表が出力できること。
- b) 出力項目は、受診者コード、受診者名、生年月日、性別、年齢、受診日、判定、結果値、病名とする。

受診者集計表

- a) 受診日、受診者コード、年齢の範囲指定、コース、団体、団体支店、団体所属、性別の指定により、年齢別集計表、コース別集計表、団体別集計表が出力できること。

人間ドック成績報告書出力

- a) 人間ドック学会に提示する、成績報告書がデータ出力可能なこと。
- b) 出力項目の設定は、導入後もユーザー側で可能なこと。

Excel 出力

- a) ユーザー側で作成したエクセルにデータを出力し、様々な統計資料が作成可能なこと。
- b) エクセルの関数を使用し、データ出力定義をユーザー側で設定可能なこと。

環境設定

環境設定基本

- A) システム全般の設定情報を管理するマスタを有すること。
- B) 担当者を管理するマスタを有すること。
- C) 担当者又は担当者分類毎に権限を管理するマスタを有すること。
- D) 予約カレンダー画面での休日を設定するマスタを有すること。
- E) 予約カレンダー画面での受診時間を設定するマスタを有すること。

- F) 予約カレンダー画面での受診時間、検査機器毎の予約可能人数を設定するマスタを有すること。
- G) 受診者コード、個人 ID の採番を設定するマスタを有すること。
- H) 判段階は 10 段階まで対応でき、アルファベット、数字、2 つの組み合わせ(半角 2 文字)のいずれにも対応可能なこと。また、判定基準の名称も変更可能なこと。

マスタ登録

マスタ登録基本

- A) 各マスタにおいて、マスタリストの出力が可能であること。
- B) 検査項目の設定変更を行うマスタを有すること。定量項目では有効桁数や判定ごとの基準値の設定、有効範囲を設定することができること。男女別の基準値設定が可能なこと。判定ごとに病名を設定することが可能なこと。団体、保険者別に個別の基準値を設定することが可能なこと。画像診断項目については、受診結果入力に表示するシェーマを設定することが可能なこと。
- C) 検査所見を管理するマスタを有すること。
- D) 検査分類の設定と、その検査分類単位の検査項目（検査項目マスタ）を設定するマスタを有すること。
- E) 判定項目の設定と、その判定項目単位に属する検査分類（検査分類マスタ）又は検査項目（検査項目マスタ）を設定するマスタを有すること。
- F) コースは最大 9999 種類まで設定可能とする。コース毎に検査項目の設定及び、問診項目（問診マスタ）の設定、単価の設定を可能とする。また、コース毎に出力する帳票を設定する機能も有すること。
- G) また、出力帳票は事前・当日・報告書で分かれており、レイアウトは帳票設計ツールで自由に作成ができること。
- H) コースを細分化するため、また、コース分類での統計業務を可能とするために管理するコース分類を設定するマスタを有すること。
- I) 所見文章を管理するマスタを有すること。
- J) 検査項目、検査分類、判定項目での判定別の所見文章（コメントマスタ）を設定するマスタを有すること。また、問診項目の回答での所見文章を設定する機能も有すること。
- K) 判定医師を管理するマスタを有すること。
- L) 問診マスタの設定と、その問診マスタ単位に属する問診項目（問診項目マスタ）を設定するマスタを有すること。また、問診項目を分類するマスタを有すること。
- M) 予約カレンダー画面での検査機器を設定するマスタを有すること。
- N) 結果一覧入力のグループを設定し、そこに該当する検査項目を設定するマスタを有すること。
- O) 契約情報登録で使用可能な年齢区分を設定するマスタを有すること。また、設定する年齢は

満年齢と年度年齢、日付指定と指定ができること。

- P) 受診者情報取込で取込を行う項目を設定するマスタを有すること。
- Q) 検査結果取込で取込を行う検査項目を設定するマスタを有すること。
- R) 受診結果入力時の検査項目の入力順を設定するマスタを有すること。
- S) 各マスタで非表示設定ができること。
- T) 項目の結果を自動計算できるマスタを有すること。
- U) 併合判定マスタ（2つの検査項目の条件により判定を設定）を有すること。
- V) コースや契約ごとで設定できる基準値マスタを有すること。
- W) 問診結果から特定の項目を治療中、と自動判定するマスタを有すること。

メンテナンス

メンテナンス基本

- a) ログの管理機能を装備していること。
- b) 指定したテーブルの更新日時、変更処理区分、変更内容、端末名、担当者コード等を一覧に出力できること。

帳票設計

帳票設計基本

- a) 現在の帳票の項目配置や位置調整が半自動（フィット機能）で容易に行えること。また、出力項目の追加ができること。
- b) 所定用紙サイズに合わせて、案内書や問診票、受診票、依頼伝票、各種報告書など様々な帳票作成が可能なこと。
- c) 既に作成された帳票を複写して一部内容を変更して登録ができること。
- d) 作成した帳票は、事前業務、当日業務、報告書印刷、ラベル印刷、個人別請求書など、帳票種別を指定して登録できること。
- e) また、帳票種別を事前業務、当日業務、報告書印刷としたものは、コースマスタ登録、契約情報登録、予約受付の対象帳票に反映して、コース別、契約情報別、受診者別に出力する帳票の設定ができること。
- f) 帳票の配色やフォントの変更が可能なこと。

特定健診

特定健診基本

特定健診の機能として以下の機能を有すること。

- ・ 受診結果入力で特定健診用の判定値に基づき、メタボリック判定、保健指導の階層化の判定対応
- ・ 帳票印刷で特定健診用の問診票や報告書の出力

- ・ 特定健診用の請求関連のデータ編集
- ・ 特定健診用の標準電子データ出力
- ・ 特定健診用の標準電子データへ出力する項目を保険者別に設定可能
- ・ 厚生労働省で定められた JLAC10 マスタとは別に健保組合独自の JLAC10 マスタを追加するマスタを有し、標準電子データへ出力可能
- ・ 特定健診項目の Excel データ出力
- ・ 特定健診受診者の判定、検査結果値等の一覧表への出力

保守契約

保守契約

- ① ハードウェア保守契約が可能なこと。
- ② ハードウェアについてはメーカー保守により、平日 9：00～17：00 の訪問保守サポート契約が可能であること。
- ③ ソフトウェア保守契約が可能なこと。
- ④ 電話、Eメールによるサポートセンターを有すること。
- ⑤ サポートセンターは平日・土曜日（日曜・祝日・年末年始休暇を除く）9：00～17：00 で開設されていること。
- ⑥ インターネット回線、ISDN回線、VPN 環境を利用したオンライン保守サポートに対応可能なこと。

納品期限

令和 8 年度の健康診断が開始されるまで岡山赤十字玉野病院に納品すること。もし納品期限に間に合わない場合は、岡山赤十字玉野病院にその旨を伝え、協議すること

入札価格

- ① 入札価格は税抜き価格で表記すること
- ② 入札価格は健診システムの価格と 1 年間の保守契約の価格の合算で表記すること
- ③ 健診システム並びに保守契約の明細を表記すること

以上